

## 祝辞

ドバイ日本人学校小学部六年生の十一名の皆さん、そして中学部三年生の七名の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

そして、保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

本日より卒業される小学部、並びに中学部の計十八名の皆さん、皆さんが初めてドバイ日本人学校の門くぐったことを覚えていきますでしょうか。それが何年前であろうとも、大きな期待と、きっとそれよりもっと大きな不安を心の中に抱えていたのではないのでしょうか。本日、このような特別な形で卒業式を迎えることとなりましたが、皆さんは、今や、凜として堂々とした姿にご成長され、本日卒業証書を受け取ったことと思います。私も喜びと感動を覚えます。

四月になりますと、皆さんは、新しい舞台に立つこととなります。日本に御帰国される方もいるでしょう。見知らぬところに足を踏み出すのは、大きな勇気が必要です。その時は、皆さんが学校生活を活かしたドバイ首長国の、未来を信じ、高い志をもって、不断の努力を重ねて、短期間に大きく発展した力強い姿を思い出して頂きたい。皆さんには、日本を離れこのアラブ首長国連邦のドバイ日本人学校で、様々な厳しい経験を乗り越え、晴れて卒業を迎えた掛け替えのない経験があるのです。

アラブ首長国連邦で卒業を迎えた皆さんのことを思うと、将来の展望を強く見据え、不屈の精神で、前へ前へと突き進む若い国家と、若い皆様の輝かしい将来が、重なって見えます。

皆さん、昨年の卒業式を覚えていらっしやいますでしょうか。六年生の皆さんも、中学校三年生も、在校生の側に座っていました。私は、皆さんが合唱した歌「旅立ちの日に」の歌詞のワンフレーズが忘れられません。『勇気を翼に込めて、希望の風に乗り、この広い大空に夢を託して』。まさに今がその時です。夢を掴み、花を咲かせるべく、自分自身の目標を勝ち取る素晴らしい才能が皆さんには養われています。皆さんの夢の実現に向かって、躊躇することなく、信念を持って未来を切り開いていってください。

保護者の皆様、日本を離れ、お子様の成長を影になり日向になり、長年支えて来られた御努力はいかほどのものかと思えます。その御努力があつて、本日の良き日を迎えることとなり、そのお慶びも、ひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

また、校長先生を始めとする教職員の皆様、時には厳しく、時に暖かく、このような素晴らしい子供たちに導かれましたこと、感謝の念をもって、慰労の意を表します。

本日門出を迎えられた子供たちの、無限の可能性と輝く未来に想いを馳せ、皆さんの凛とした厳かな姿を思い浮かべ、私自身も心豊かにさせていただきました。ありがとうございました。

それでは、卒業生の皆様の素晴らしいご活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。皆さん、おめでとう。

令和二年三月五日、在ドバイ日本国総領事、梅澤彰馬